

平成25年度 事務事業評価調書（平成24年度実績分）

事務事業名		旭浄水場更新事業		
所管部局	水道局	部局長名	明神 公平	予算事業名
所管部署	浄水課	所属長名	末延 弘	予算事業科目(平成25年度)

1 事業の位置付け

2011 高知市 総合計画・実施計画 施策体系での位置付け		施策取組方針	水道施設の耐震化等を推進するとともに、市民との連携や、他都市事業体との相互連携・応援体制の確立などによる防災対策を充実させます。 また、安全な水を確保し、突発的な水質汚染事故などに対応できるように、水質管理体制の強化を図ります。
施策の大綱	05 まちの環		
政策	28 安全安心の都市空間整備		
施策	88 水道ライフラインの強化		

2 事業の根拠・性格

法定受託事務	
法律・政令・省令	
県条例・規則・要綱等	
市条例・規則・要綱等	
その他(計画、覚書等)	高知市水道事業基本計画2007

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	給水区域内の市民		
意図	どのような状態にしていくのか	安全な水を安定して供給するとともに、災害に強い浄水場にする。		
手段	事業実施体制等	旭更新事務所を設置	事業開始年度	平成12年度
			事業終了年度	平成28年度
活動内容	どのような事業活動を行うのか	<ul style="list-style-type: none"> <li>●既設の施設を運転しながらの工事となるため、運転に支障がでないよう注意する。</li> <li>●周辺住民に騒音・振動等の被害が出ないように留意する。</li> <li>●最小の経費で最大の効果がでる施設づくりをめざす。</li> <li>●運転管理・維持管理の容易な施設をめざす。</li> <li>●事業終了年度までの完了をめざし、適切な工程管理を行う。</li> </ul>		
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方	
	A	工事の進捗率	予定した工事の進捗率	
	B			
	C			

4 事業の実績等

			22年度	23年度	24年度	25年度(計画)	備考欄	
成果指標	A	工事の進捗率	目標	34%	41%	53%	55%	
			実績	34%	41%	53%		
	B	目標						
		実績						
	C	目標						
		実績						
投入コスト	① 事業費	決算額 (千円)	14,421	388,282	1,084,875	878,017		
		財源内訳	国費 (千円)					
			県費 (千円)					
			市債 (千円)					
			その他 (千円)					
			一般財源 (千円)	14,421	388,282	1,084,875		878,017
	翌年度への繰越額 (千円)	330,540	567,420	722,717				
	② 概算人件費等	人件費等 (千円)	21,600	21,600	22,200	22,200		
		正規職員 (千円)	21,600	21,600	22,200	22,200		
		その他 (千円)						
		人役数 (人)	3.00	3.00	3.00	3.00		
		正規職員 (人)	3.00	3.00	3.00	3.00		
		その他 (人)						
	総コスト= ① + ② (千円)		36,021	409,882	1,107,075	900,217		
市民1人当たりコスト (円)		106	1,213	3,272				
年度末住民基本台帳人数 (人)		339,130	337,875	338,397				
						総コスト/年度末人口		

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

- 既設の施設を運転しながらの施工であり、運転に支障が出ないように最新の注意を払う必要がある。
- 既設の施設が古く、図面等のデータが不足しており、確認に時間を要する。
- 周辺家屋に工事による振動や騒音等で影響が出ないように配慮する必要がある。

6 所属長評価

評価項目		評価基準	1次	平均 点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① [施策体系等での位置付け] 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく B (3) 一部結びつく C (1) あまり結びつかない D (0) 結びつかない	A	5.0	本事業は、施策「安全でおいしい水の安定供給」に資するものであり、本市の総合計画に掲げる政策「快適で安全な生活環境づくり」の趣旨に合致している。 また、水道水を安定供給するためには、基幹施設の整備が必要とされ、市民ニーズも高くなっている。
	② [市民ニーズの傾向] 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している B (3) 概ね多いである C (1) 少ない、減少している D (0) ほとんどない	A		
事業内容の有効性	③ [成果の達成状況] 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している B (3) 概ね達成している C (1) あまり順調ではない D (0) 十分な成果を望めない	A	4.0	平成19年度～平成28年度の事業の内、浄水施設、配水施設、導水施設は既に完成しており、成果指標は十分に達成している。 関係官庁・機関等との協議や地元説明会を実施するなど、事業の手法・活動内容は概ね妥当である。
	④ [事業の手法・活動内容] 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である B (3) 概ね妥当である C (1) 検討の余地がある D (0) 見直しが必要である	B		
事業実施の効率性	⑤ [アウトソーシングの可能性] 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない B (3) 行政主体が望ましい C (1) 検討の余地はある D (0) 十分可能である	A	5.0	アウトソーシングの可能性は、現段階では無い。 コスト削減は追及していくが、類似事業との統合・連携は困難である。
	⑥ [事業統合・連携・コスト削減] 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない B (3) 概ね効率的にできている C (1) 検討の余地がある D (0) 十分可能である	A		
事業実施の公平性	⑦ [受益者の偏り] 事業の受益者が特定の個人(団体)等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い B (3) 概ね保たれている C (1) 偏っている D (0) 公平性を欠いている	A	5.0	安全な水を安定して供給するとともに、災害に強い浄水場にすることがで、受益者には極めて公平性が高い。 計画段階で工法の検討を行い、最小の経費で最大の効果が得られる施設づくりをめざしており、適正な負担割合である。
	⑧ [受益者負担の適正化] 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である B (3) 概ね適正な負担割合である C (1) 検討の余地がある D (0) 検討すべきである	A		
総合点	19.0	総合評価	○ A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)		
			B 経費削減に努め事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)		
			C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合)		
			D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)		

7 部局長評価

総合評価	評価理由・今後の方向性等
○ A 事業継続	1次評価のとおり
B 経費削減に努め事業継続	
C 事業縮小・再構築の検討	
D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項

--